

令和7年度 高須地区福祉活動計画

重 点 課 題	地域のふれあいの活動の機会を逃さず、活動につなげる
---------	---------------------------

事業名	
Aブロック	①地域あいさつ運動 ②ハイキング大会
Bブロック	①あいさつ啓発運動
Cブロック	①福祉懇談会 ②世代間交流事業
Dブロック	①あいさつ啓発運動
Eブロック	①世代間健康運動（ラジオ体操） ②地区懇談会

地域の課題（背景）	
Aブロック	地域あいさつ運動や単発的なハイキングに終わらせることなく、地域の人たちが子育てについて気軽に話することができる風土をつくりたい。（いいほうのブロックと思う）
Bブロック	今の時代！Tやスマホで情報がすぐ手に入り、人の手を借りずにすむ時代になり、集まる機会が少なくなった。特に老人の孤立化が目立つ。
Cブロック	集まる機会が少なく、孤立化が増えている。住民のつながりが弱くなり、状況がつかめない事態が進んでいる。
Dブロック	今の時代！Tやスマホで情報がすぐ手に入り、人の手を借りずにすむ時代になり、集まる機会が少なくなった。特に老人の孤立化が目立つ。
Eブロック	育成会（子ども会）の活動がなくなり、子育て世代の福祉への関心が薄れている。福祉＝高齢者のイメージが強いが、誰にでも関係があることを伝えていきたい。

推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】	
Aブロック	「地域あいさつ運動」を各自治会において「交通安全街頭啓発巡視」に合わせて実施し、あいさつや見守りの声掛けを通して住民同士のコミュニケーションを図る。
Bブロック	自治会長・福祉推進委員・民生児童委員・他福祉関係の役員の連携協力を強化する。
Cブロック	自治会長や福祉関係の役員の連携協力を強化する。困りごとを把握し、小さな助け合いにつなげる。心ある人の結集を図り、具体的事例を共有し支援する。
Dブロック	自治会長・福祉推進委員・民生委員児童委員・他福祉関係の役員の連携協力を強化する。
Eブロック	世代間交流のほか、ブロックの課題を見つけて活動につなげる。地域が広く、転入者も多いので、横のつながりを通して地域の温度差を無くしていく。

自助(自分でできること)	
Aブロック	福祉活動に関心を持ち、自分でできることから取組み、参加する。
Bブロック	一人暮らしの方への声掛け活動を実施する。
Cブロック	隣近所や親しい人への声掛け、小さなお手伝いを実践する。
Dブロック	一人暮らしの方への声掛け活動を実施する。
Eブロック	福祉活動に関心を持ち、自分ができるところに参加する。近隣にも声を掛ける。

公助（行政や社協に依頼すること）	
Aブロック	円滑な福祉活動を継続するためのシステムづくりに協力。援助
Bブロック	市職員や民生委員の見守り訪問を強化してほしい。
Cブロック	地区連携の推進方法の学習会、実践方法についての協力と予算面での援助
Dブロック	市職員や民生委員の見守り訪問を強化してほしい。
Eブロック	無理のない活動を維持するためのシステムづくりに協力・助言

令和7年度 高須地区福祉活動計画

重 点 課 題	海津小学校の活動を見据えて高須地区としての問題や課題を見つけ出し、活動につなげる
----------------	--

事業名	
総務部会	①組織・規約の問題点の見直し ②あいさつ運動の推進（7月,12月） ③小さな助け合い運動 ④研修会 ⑤地域福祉活動計画の推進
防犯防災部会	①防災・減災に役立つ活動 ②交通安全運動の推進 ③防犯に関する取り組み
生活支援部会	①サロン活動の普及・助言・協力 ②子育て支援活動や地域助け合い活動の普及等 ③地域の枠を超えた活動（ネットワーク、サロン） ④広域サロン活動を続け、活発化する。
イベント交流部会	地域の活性化を図る活動 ①ひとり暮らし高齢者のつどい ②地域イベントへの支援
ちょボラ部会	買い物等の外出支援活動の実施

地域の課題（背景）	
総務部会	①地区社協、部会、ブロックやその仕組みについてわからない人、知らない人、誤解している人が少なくない。 ②活動の内容や理由も周知されていない。
防犯防災部会	①防災・減災活動は、私たちの地域社会の未来を守るうえで 最も重要な課題です。小学校での避難訓練も数年前と同じです。行政の長期計画も私たちの活動と関連付けが不透明になっています。各自治会の防災活動組織も休眠組織が多い状態です ②危険箇所の点検 ③防犯に関する課題収集（詐欺、盗難、窃盗、SNS犯罪、子供、老人等）
生活支援部会	①要支援者に対する日常的なケアが重要である。 ②住民の孤立・孤独を和らげる事業が必要不可欠である。 ③高齢者の足の確保を考える。
イベント交流部会	①ようやく一人暮らし高齢者の交流会が対面方式で開催できるようになった。 ②他部会との協力体制を作り（広域サロン等）社会の情勢に応じて、人と人が交流できる場をつくるよう努めたい。
ちょボラ部会	①買い物支援のニーズが多くあった。 ②高齢者の足の確保が問題視されている。

推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】	
総務部会	民生委員児童委員、福祉推進委員、自治会長に対しての学習会（広報を兼ねる）
防犯防災部会	①避難訓練の働きかけ、行政の方針との整合性を確認し、各自治会の防災組織の実効性も確認、各地域の防災マップの整備などを行う。 ②危険箇所マップ作成。防犯パトロール。お年寄りおよび子供中心の防犯教育。 ③情報セキュリティなど参考情報の配布、講演会の実施。
生活支援部会	①ちよボラ部との協力 ②広域サロンの開催、他団体との連携や協力 ③他の関連団体との連携
イベント交流部会	地域のイベントとの協力や共催の方法を研究する。（主催者・費用・方法等）
ちよボラ部会	・買い物支援に対しては、市社協の協力（車等）を得て実施してみる。 実施方法として①利用者登録、②出来る事の内容等

自助(自分でできること)	
総務部会	定期的な話し合いの場を設ける。
防犯防災部会	社会的弱者（高齢者、子ども）への積極的配慮
生活支援部会	部員、役員の交代時の引継ぎを確実に行う。 向こう三軒両隣、親しい人への見守りと声掛け
イベント交流部会	生活の中で 交わる人と 交流し、ボランティアの 人材発掘に努める。
ちよボラ部会	部員の確保の為、チラシで募集・口コミ作戦・他団体の協力

公助（行政や社協に依頼すること）	
総務部会	十分な参考資料の提供、適切なアドバイス
防犯防災部会	①行政及び自治連、社協と連携して、役割分担を明確にして取り込む。 ②警察署、交通安全協会などと連携強化し、活動支援をお願いする
生活支援部会	会場の確保や予算の融通等適切なアドバイス 福祉活動団体の活動内容の整理と合理的な仕分け
イベント交流部会	企画へのアドバイスと協力、ボランティア団体の紹介、活動費の援助
ちよボラ部会	活動へのアドバイスと協力、ボランティア団体の紹介、活動費の援助